

ごあいさつ

# Creating Satisfaction

ALWAYS  
INNOVATING



有富 慶二

瀬戸 薫

2009年3月期は中期経営計画「満足創造3か年計画」の初年度にあたり、ヤマトグループは、3か年計画の大きな方針である「宅配マーケットにおいて圧倒的リーダーの地位を確立すること」と「アジア圏におけるグローバル戦略の足掛かりを作ること」の二つを掲げて事業経営に取り組んでまいりました。

しかしながら、世界的な金融危機に端を発した急速な景気悪化の影響もあり、宅急便数量が発売以来初めて前期の実績を下回るなど、極めて厳しい経営環境が続きました。当期の連結営業収益は1兆2,519億22百万円、連結営業利益は557億21百万円という業績でした。

当社にとりましても、急速な景気悪化が業績に与えた影響は少なくなく、この1年間は極めて厳しい経営環境でした。

そのような状況の中でも、我々は二つの大きな手ごたえを感じることができました。一つは、「LT(物流)、IT(情報)、FT(決済)を組み合わせることで、競合他社が容易に真似のできない法人向けソリューションビジネスを創出することができた」ということです。もう一つは、「デリバリー事業において、生産性向上を目的とした宅急便オペレーション改革によるコスト競争力の強化とサービスの向上を同時に実現することができた」ということです。

3頁以降で詳しくご説明いたしますが、このような経済不況下において、自らをソリューションプロバイダーへと変化させ、同時に30年以上継続してきた宅急便ビジネスの抜本的なオペレーション改革を実行し、大幅なコスト削減を達成できたことは、我々のイノベーションスピリットの結果であると強く認識しております。

私たちは、前期のアンニュアルレポートにおいて、ヤマトグループの姿を「Still a Leader, Still an Innovator」と表現し、当期のアンニュアルレポートにおいては「Always Innovating」と表現しています。今後も、今まで培ってきた有益な資産を活かし、企業価値を最大化させてまいります。

当期の期末配当金につきましては、1株当たり11円とさせていただき、中間配当金とあわせて、22円といたしました。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**有富 慶二**  
取締役会長

**瀬戸 薫**  
代表取締役社長  
社長執行役員